

メルセデス・ベンツ S クラスにモデル追加

Press Information

2010 年 11 月 10 日

ハイブリッド車「S クラス HYBRID」に標準ホイールベースモデルを追加 ハイパフォーマンスモデル「S 63 AMG ロング」に新開発エンジンを搭載

- ・ 「S クラス HYBRID」: オーナードライバー向けに標準ホイールベースモデルを追加
- ・ 「S 63 AMG ロング」: 高出力と環境性能を高次元で両立した新型エンジンを搭載

メルセデス・ベンツ日本株式会社(社長: ニコラス・スピークス、本社: 東京都港区)は、メルセデス・ベンツの最高級セダン「S クラス」のハイブリッドモデル「S クラス HYBRID」に標準ホイールベース仕様モデルを追加設定するとともに、ハイパフォーマンスモデル「S 63 AMG ロング」に新開発エンジンを搭載し、本日より全国のメルセデス・ベンツ正規販売店ネットワークを通じ発売いたします。

メルセデス・ベンツSクラスは、いつの時代にも、安全性・快適性・環境適合性のすべての面で世界の高級車の指標として高い評価を受けるメルセデス・ベンツのフラッグシップセダンです。現行型Sクラスは日本において2005年10月発売開始以来累計21,000台以上の販売台数を誇る、このセグメントのトップセラーモデルです。また、2008年9月に販売開始した輸入車初のハイブリッドモデル「S クラス HYBRID ロング」は、2010年10月末時点でSクラス全体(8モデル)の約15%と堅調な販売を続けてまいりました。

<S クラスHYBRIDの特長>

- ー 標準ホイールベースによる運転しやすいボディサイズ、充実した装備を誇るラグジュアリーパーソナルハイブリッドモデル
- ー ハイブリッドモデルながら、快適性をいっさい犠牲にしない室内空間
- ー 同セグメントとしてトップレベルの低燃費と環境性能を実現

今回新たに追加する「S クラス HYBRID」は、広いリアシートスペースにより法人需要の多い「S クラス HYBRID ロング」に比べ、全長13cm、最小回転半径が約20cm短かい標準ホイールベースを採用し、自ら運転されるオーナードライバーにとって運転しやすいボディサイズとなっています。「S クラス HYBRID ロング」と同様、小型軽量なリチウムイオンバッテリーの採用により、ハイブリッド化による重量増はわずか75kg、トランク容量はガソリンモデルと同容量を確保し、走行性能や快適性をいっさい犠牲にすることなく低燃費とトップレベルの環境性能を実現し、エコカー減税対象車として自動車取得税・重量税が100%減免されます。さらに、メルセデスのフラッグシップモデルならではの充実した安全装備、快適

装備により、オーナードライバーにもご満足いただけるパーソナルラグジュアリーハイブリッド Page 2
モデルとなっています。

<新型S 63 AMGの特長>

- － 新開発5.5リッターV8直噴ツインターボエンジンを搭載
- － ダウンサイジングにもかかわらず出力19PS増、最大トルク170Nm増を実現
- － 燃費経済性の大幅な向上(約5割改善)

ハイパフォーマンスモデル「S 63 AMG ロング」に搭載されるメルセデス AMG 社開発による新型高性能エンジンは、排気量を従来の 6.3 リッターから 5.5 リッターへとダウンサイジングを図りながら、綿密な燃料噴射を行なうピエゾインジェクターを用いたスプレーガイドッド・ガソリン直噴式燃料噴射システムや 1 ミリ秒以内に点火スパークを最大 4 回発生するマルチスパーク・イグニッション、ツインターボチャージャーなど最先端テクノロジーを駆使し、従来モデルに比べ大幅な性能アップと燃費向上を両立しています。

最高出力400kW (544PS)、最大トルク800Nmと従来比+14kW (+19PS)/+170Nmのパフォーマンス向上を実現しながらも、新たにECOスタートストップ機能(アイドリングストップ機能)や、従来のトルクコンバーターに代え湿式多板クラッチを用いた革新のトランスミッション「AMGスピードシフトMCT」(電子制御式7速トランスミッション)を搭載することにより、燃費は従来モデルに比べ5割以上の改善を図り、CO₂排出量244g/kmとこのセグメントにおいて群を抜く優れた環境適合性を実現しています。

さらに、S 63 AMG ロング専用オプションとして、内外装の個性を一段と強調し、さらなるパフォーマンス向上を図る「AMGパフォーマンスパッケージ」を設定いたします。- 最高出力+20kW (+27PS)/最大トルク+100Nm

- AMGドライバーズパッケージ(速度リミッターの設定変更)
- AMGカーボンファイバーエンジンカバー
- AMGパフォーマンスステアリング
- チタニウムグレーペイント20インチAMG5ツインスポークアルミホイール(鍛造)

また、オプション装備として**ドライバースアシスタンスパッケージ**を新たに設定いたします。
本オプションは**アクティブレーンキーピングアシスト**と**ディストロニック・プラス**のセットとなります
(ハイブリッドモデル除く)。

アクティブレーンキーピングアシストは、ウインドスクリーン内側に設置したカメラがドライバーの不注意による車線逸脱を検知した場合、ステアリングに振動を与えドライバーに警告を促すとともに、逸脱した側と逆側のブレーキをかけ車両が自然に元の車線に戻るサポートをします。また**ディストロニック・プラス**は、従来のディストロニックと同様、悪天候下でも影響を受けにくいミリ波(77GHz)レーダーを使用して前方の車両を監視して先行車との車間を一定に保持するシステムです。任意に設定した速度まで自動的に加速し、先行車に追従するとともに、新たな機能として、先行車が停止した場合や渋滞路において時速 0km/h まで減速することが可能となりました。さらに、先行車が急停止した場合や障害物に接近した場合などには、警告音とランプでドライバーに急ブレーキ操作を促すとともに、ブレーキを踏み込んだときに最大限の制動力を発揮できるよう備えるブレーキアシスト・プラスも付加しています。

メーカー希望小売価格(消費税込み)は以下の通りです。

モデル	ステアリング	メーカー希望小売価格 ()内は消費税抜き車両本体価格
S 350 (3.5L V6)	左/右	¥10,500,000 (¥10,000,000)
HYBRID (3.5L V6 + ハイブリッド)	左	¥12,700,000 (¥12,095,239)
S 550 (5.5L V8)	左/右	¥13,600,000 (¥12,952,381)
HYBRID ロング(3.5L V6 + ハイブリッド)	左	¥14,050,000 (¥13,380,953)
S 550 ロング (5.5L V8)	左/右	¥15,100,000 (¥14,380,953)
S 550 4MATIC ロング (5.5L V8)	左	¥15,700,000 (¥14,952,381)
S 600 ロング (5.5L V12 ツインターボ)	左	¥20,500,000 (¥19,523,810)
S 63 AMG ロング (5.5L V8)	左/右	¥22,920,000 (¥21,828,572)
S 65 AMG ロング (6.0L V12 ツインターボ)	左	¥30,400,000 (¥28,952,381)

* 上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金(消費税を除く)、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。また「自動車リサイクル法」に基づく、リサイクル料金が別途必要となります。

なお、SクラスHYBRIDとS 63 AMG ロングにも、メルセデス・ケア(3年間走行距離無制限の無料修理・無料メンテナンスと24時間ツーリングサポート)が適用されます。また、メルセデス・ケアの一般保証および24時間ツーリングサポートを有償にて最大2年間延長するプログラム「My Mercedes サポート」もご用意しております。

メルセデス・ベンツ SクラスHYBRID詳細

Sクラス HYBRIDは、ガソリンエンジンを搭載したラグジュアリーセダンとしては世界最高レベルの燃費効率と最小レベルのCO₂排出量を実現し、日本市場には輸入車初のハイブリッドカーとして2009年9月に「SクラスHYBRIDロング」として登場しました。

SクラスHYBRID専用に改良を加えた3.5リッターV型6気筒ガソリンエンジンと組み合わせられるハイブリッドモジュールは、エンジンとトランスミッションの間に組み込まれた薄型の電気モーターと、量産ハイブリッド車初のリチウムイオンバッテリーなど、徹底した小型軽量設計により重量増はわずか75kgに抑えられています。

さらに、このリチウムイオンバッテリーは、従来のカーバッテリーと同様にエンジンルーム内に設置されるため、これまでハイブリッドカーの欠点とされていたトランクスペースは通常のガソリンモデルと同じ容量を確保することができました。

最大160Nmのトルクを発生する小型電気モーターは、発進時や加速時などトルクを必要とする際に「ブースト機能」としてガソリンエンジンをサポートしエンジンの負荷を減らす一方、減速時にはジェネレーターとして運動エネルギーを回収しバッテリーを充電する「回生ブレーキ」として機能します。さらに、減速して時速15kmを下回るとエンジンが停止し、アイドリングストップ状態となる「ECOスタートストップ機能」が燃料消費低減に大きく貢献しています。その結果、Sクラス HYBRIDの燃費(10・15モード11.2km/L)は、S 350に比べ約30%向上しています。

なお、バッテリーの充電状態やモーターのアシスト状態は、エナジーフローディスプレイとしてメーターパネル内のマルチファンクションディスプレイにリアルタイムに表示されます。

Sクラス HYBRIDの排ガス性能は、国土交通省による「平成17年排出ガス基準75%低減レベル(★★★★低排出ガス車)」認定を取得しており、さらに「平成22年燃費基準+25%達成」の認定も獲得したことにより、エコカー減税対象車として、自動車取得税・重量税が100%減免されます。